

対話を紡ぎ、共に創る コミュニティ・スクール通信



令和7年度
コミュニティ・
スクール通信第1号
印西市生涯学習課

コミュニティ・スクール通信をお届けします

令和7年度より、印西中学校区（印西中学校・木下小学校・大森小学校）において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されています。印西市では、今後段階的に導入を進め、令和10年度末までに、市内すべての公立小・中学校での実施を目指しています。この通信では、広く地域の皆様や保護者の皆様に向けて、「コミュニティ・スクール」に関する情報をお届けします。コミュニティ・スクールの目的や具体的な取り組みを紹介し、ご理解を深めていただくとともに、地域と学校が一体となり、対話を重ねながら共に創り上げる「地域とともにある学校づくり」を目指していきたいと考えています。ぜひご一読いただき、今後のご支援・ご協力をお願いいたします。今回は、「コミュニティ・スクールとは？」というテーマでお伝えしていきます。

「コミュニティ・スクール」って何？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことであり、言い換えれば、学校運営協議会制度を導入した学校を指します。

設置形態は、大きく二つに分けられます。一つは「単独型」で、これは各小学校・中学校がそれぞれ独立して学校運営協議会制度を設置する形態です。もう一つは「中学校区型」で、これは一つの中学校とその学区内の小学校が合同で学校運営協議会を設置する形態を指します。

「学校運営協議会」ってどんな仕組み？



学校運営協議会とは、地域住民や保護者の方々が委員として参加し、学校と共に児童生徒を育てる目標を共有しながら、権限を持って学校運営に関わる仕組みです。

学校の現状や課題について話し合い、必要な支援を検討しながら、子どもたちの成長のために地域や保護者ができることを考え、実際に取り組むことで、学校と地域が連携し、より良い教育環境を創り出していきます。

「コミュニティ・スクール」に期待されること

現代の学校・家庭・地域が抱える課題は複雑化しています。こうした中、コミュニティ・スクールは、学校と地域が連携し、児童生徒が社会のつながりの中で学びながら、教員が教育しやすい環境を整えることが期待されています。地域住民や保護者が学校運営に参画することで、教育の質の向上や学校の課題解決につながり、持続可能な学校づくりが実現します。結果として、子どもたちは学びを通じて『生きる力』を育み、地域の活性化にもつながることが期待されています。